

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学実習		実習	石橋 保子・淡路 大致・沖田 章子 田中 靖人	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
前期の生理学で学んだ「皮膚感覚」「循環機能」「平衡機能」「筋生理」について、実習を通じて理解を深める。 各テーマ毎に班に分かれ、実習を行った後、実習結果をレポートにまとめ、考察を加える。				
授業の到達目標				
1. 各実習の手順を理解し、できるだけ正確なデータが取れるよう配慮する点について説明できる。 2. レポートは指定された形式を守り、表現は簡潔で、他者が読んで分かりやすい表現をすることができる。 3. 教科書の知識と実習結果を比較し、自身の考察を導くことができる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション（実習の概要、レポートの書き方について）			
2	淡路担当：講義と重心動揺計の操作練習			
3	淡路担当：平衡機能の実験			
4	淡路担当：講義と実験結果のまとめ			
5	石橋担当：表面筋電図の操作			
6	石橋担当：表面筋電図の仕組み			
7	石橋担当：表面筋電図（課題実習）			
8	レポートのまとめと知識の整理			
9	沖田担当：皮膚感覚の実験内容の理解、実験器具作り			
10	沖田担当：実験			
11	沖田担当：実験、結果とまとめ			
12	田中担当：PWCテスト①（全身持久力の測定、心拍数、血圧の反応）			
13	田中担当：PWCテスト②（全身持久力の測定、心拍数、血圧の反応）			
14	田中担当：PWCテスト③（全身持久力の測定、心拍数、血圧の反応）			
15	レポートのまとめと知識の整理			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	85%			
小テスト				
平常点	15%	授業への参加態度や出席状況で評価する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 解剖学第4版	野村 巖 編		医学書院	
基礎運動学 第6版補訂	中村隆一 他		医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
各実習テーマは4グループに分かれ、ローテーションしながら受講する。レポートの作成は、将来、作業療法士となり、報告書やカルテ記入の業務において、事実や考えを簡潔に述べることに通じるものであるから、その手法を身に付けてもらいたい。				